

# 令和2年度 事業計画（総括）

## I. 国・県予算の状況

国の関連予算については、総枠で前年度並みの予算額が確保される見込みであるが、現場の課題に対応した予算の見直し要求は反映されておらず、引き続き県と連携して必要額の措置に向けた要望等を行う必要がある。

一方、県の関連予算については、新しい知事の下で、新たに策定される島根創生計画の着実な推進を図るため、新たな中期財政運営方針を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドの徹底や、外郭団体に積み立てた基金の活用を含む財源の確保などにより、3部（地域・環境・商工）全体でH31（令和1）当初予算よりも減となった。

財団の予算総額では、県方針の影響により財源構成に大きな変化が生じる。

### (1) 国（厚生労働省）

若年者地域連携事業（全国枠）

H31 12.5億円 → R2 12.5億円（+0.0%）

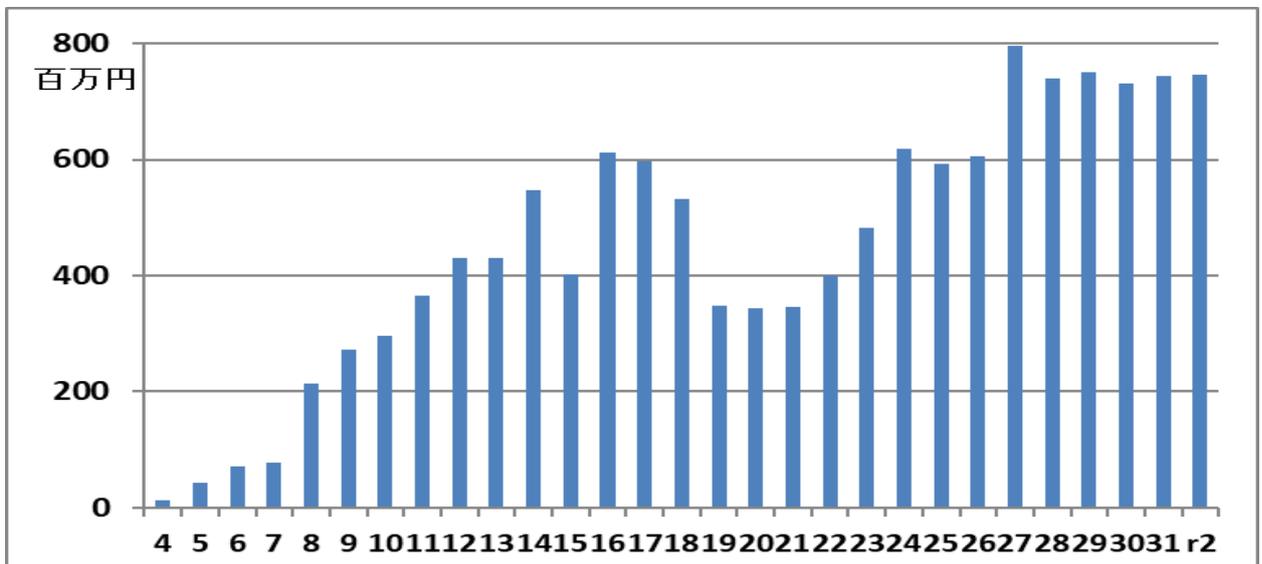
### (2) 定住関連予算（県しまね暮らし推進課分）

H31 714百万円 → R2 643百万円（▲9.9%）

### (3) 定住財団の予算

（単位：百万円）

財源区分		R2予算	H31予算	増減	摘要
島根県	地域振興部	466	514	▲48	しまね暮らし推進課
	環境生活部	15	20	▲5	NPO推進室
	商工労働部	147	174	▲27	雇用政策課
	小計	628	708	▲80	
厚生労働省		22	22	0	若年者地域連携事業
財 団		97	14	83	※基金充当(80)
計		747	744	3	



## II. 若年者の県内就職の促進の主要事業

### 1. 就職フェア等の状況

#### ①企業ガイダンス（合同企業説明会）

	2020卒向け (H30～R1年度)			2021卒向け (R1年度)		
	開催日・場所	参加者数	企業数	開催日・場所	参加者数	企業数
県内 ガイダンス 12月：企業博	H30.12.28松江	356人	164社	R1.12.27松江	324人	168社
	H31.3.4松江	414人	240社	R2.3.5松江	中止	中止
	H31.3.20浜田	27人	69社	—	—	—
	R1.5.19浜田	41人	68社	R2.5月浜田	予定	予定

・浜田で3月に実施してきたガイダンスについては、R1年度は開催時期を12月に前倒しし、  
全学年対象の業界研究イベントとして実施（業界研究イベント欄に記載）

#### ②就職フェア(面接会)

	2019卒向け (H30年度)			2020卒向け (R1年度)		
	開催日・場所	参加者数	企業数	開催日・場所	参加者数	企業数
県内 就職フェア	H30.6.16松江	186人	130社	R1.6.2松江	171人	155社
	H30.8.11松江	105人	120社	R1.8.14松江	129人	115社
	H30.10.15松江	52人	49社	R1.10.23松江	54人	48社

#### ③業界研究・企業交流セミナー

		全学年対象 (H30年度)			全学年対象 (R1年度)		
		開催日・場所	参加者数	企業数	開催日・場所	参加者数	企業数
県内イベント		—	—	—	R1.12.9浜田	50人	6社
県外 イベント	業界 研究	H30.12.1東京	17人	9社	R1.6.22東京	10人	10社
		H30.11.10大阪	16人	15社	R1.6.22大阪	23人	11社
		H30.11.17広島	33人	13社	R1.6.15広島	28人	11社
					R2.2.8大阪	33人	26社 鳥取合同開催
	企業 交流 セミナー	東京 (年間6回開催)	延べ65人	延べ13社	東京 (年間3回開催)	延べ34人	延べ9社
		大阪 (年間5回開催)	延べ100人	延べ11社	大阪 (年間2回開催) ※1回分は業界研究 イベントとして開催	延べ27人	延べ5社
山陽 (広島・岡山・山口) (年間6回開催)		延べ90人	延べ17社	山陽 (広島・岡山) (年間3回開催)	延べ37人	延べ10社	

## ④インターンシップの状況

	H29年度			H30年度			R1年度		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	167	145	312	174	111	285	158	127	285
マッチング企業数(社)	122	53	175	111	38	149	99	54	153
申込学生数(人)	332	104	436	330	79	409	335	89	424
参加者数(延数)	326	110	436	330	79	409	347	(注)109	456

夏期:8月～9月末、春期:2月～3月末

(注)R1年度の春期は、マッチング件数。マッチング後、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためのインターンシップ取りやめ等が発生しており、最終的には減少する見込み

## R1年度の状況

企業の参加意欲は高く、申込企業数は増加している一方、参加学生数は減少傾向である。学生と接する貴重な場の提供はできているものの、十分な数の学生を企業とつなげることができておらず、企業側の満足度を満たすのが難しい状況

その要因としては、就活の早期化・効率化、売り手市場・大手志向や就活イベントのインフレ状態が想定される。

また、県と「就職支援に関する協定」を締結している県外大学（以下「就職支援協定校」という。）と連携し合同企業交流会（業界研究“しまねインターンシップコレクション”）や低学年次の学生を対象とした企業交流セミナー（しまねタイム）を実施

本格的な就職活動の始まりとなる3月には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、企業ガイダンスなどのイベントの中止を余儀なくされ、学生の就職活動や企業の採用活動にも大きな影響を及ぼした。

## R2年度の事業展開

### (1)企業と学生の出会いの場の充実

#### ①効果的な就活イベントの実施

近年の学生の就活動向を鑑み、以下を実施

- ・就職支援協定校と連携し、合同企業交流会（しまねインターンシップコレクション）を東京、大阪、広島で各1回開催
- ・県内企業ガイダンスや就職フェアへの参加を促すため、都市部（大阪、広島）から無料バスを運行
- ・UIターンフェア全会場において、学生向け企画を実施

#### ②インターンシップの促進

- ・大学生等インターンシップへの参加者に対する交通費、宿泊費を助成  
対象者:しまね学生インターンシップの参加学生(交通費は県外在住学生のみ)

要件:【宿泊費】自宅等からの通勤が困難であるとジョブカフェしまねが認めた者  
【交通費】県外居住地から滞在先(県内)間の移動を要する者  
補助率:1/2  
上限額:年3万円/人

・企業のインターンシップ受入プログラム強化のためのセミナーの実施

### ③しまね企業交流セミナーの実施

県内就職の魅力を伝えるため、都市部(東京・大阪・山陽)において低学年次の学生を対象とし、島根県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナー(しまねタイム)をより学生に響く内容で実施

### ④UIターン志望学生の就職活動への助成(拡充)

県外の学生等が県内企業における就職活動に係る説明会等に参加するための交通費・宿泊費を助成

- ・対象者:県外の大学等に在籍する学生
- ・要件:県内企業が開催する説明会等に参加し、片道3千円以上の交通費を要する者
- ・補助率:1/2 ※1万円 → 3千円
- ・上限額:年3万円/人

## (2)学生に向けての情報発信力の強化

### ①学生登録制度の推進

登録者数は、2月末現在で12,068人と順調に伸びている。学生に向けてタイムリーに適切な情報(学年に応じた情報)を伝えるため、高等学校と連携しながら、学生登録を強力に推進する。高等学校には、登録の呼びかけや進学先情報の提供(H27.3より)などで引き続き協力を依頼

### ②大学との連携強化

県内大学のキャリアセンターや県外の就職支援協定校を中心に就活イベントやインターンシップ等への参加の呼びかけ等において継続して連携

## (3)保護者・教員へのアプローチ

### ①大学保護者会を通じたアプローチ

県内外の大学が県内で開催する保護者会において、県内就職を取り巻く状況や県内企業の魅力、学生登録の呼びかけを引き続き実施

### ②保護者へのアプローチ

保護者のための就活セミナーや情報提供等を引き続き実施

### ③教員へのアプローチ

高校・特別支援学校の教職員に県内企業を知ってもらうための、教員向けバスツアーを県にて引き続き実施

## (4)企業情報発信力の強化

県内企業向けの採用力強化のためのセミナーを実施

### Ⅲ. UIターン推進関連の主要事業

#### 1. UIターンフェア等の開催・集客状況

##### R1年度の状況

(1) UIターンフェアの来場者数が3会場(東京・大阪・広島)ともに減少

- ・大阪・広島会場は微減であったが東京で大幅に減少
- ・ウェブ広告による情報発信強化を実施し、閲覧者は増加したが来場につながらず

##### 【UIターンフェアの開催状況】

	H27	H28	H29	H30	R1	開催日・場所
東京	647	867	905	1,302	757	11/16・17 池袋サンシャインシティ
大阪	387	517	484	528	496	9/15 コングレコンベンションセンター
広島	246	214	269	253	234	10/14 基町クレド
計	1,280	1,598	1,658	2,083	1,487	(H30) - (R1) ▲596

##### 【財団・他団体 主な相談会等】

名称	開催日・場所	R1実績			(参考)H30		
		全体	相談者数		全体	相談者数	
		来場者	組数	人数	来場者	組数	人数
しまねUIターン相談会 in大阪	6/2 梅田スカイビル	145	55	84	157	51	67
しまねUIターン相談会 in東京	7/7 東京交通会館	152	54	74	131	36	45
しまねUIターン相談会 in大阪	12/15 梅田スカイビル	120	45	61	156	49	66
しまねUIターン相談会 in東京	1/26 東京交通会館	132	56	69	139	60	78
ふるさと回帰フェア in大阪	7/27 大阪	3,221	14	21	2,618	14	21
ふるさと回帰フェア in東京	9/7 東京	4,001	16	24	20,686	18	19

##### (2) しまねU・Iターン応援カードの発行

- ・県外在住のくらしまねっと登録者のうち希望者に対してカードを発行するとともに、県内企業等に割引サービスの提供等呼びかけた
- ・【カード発行枚数】 343枚 【協賛事業所数】 172事業所

## R2年度の事業展開

### (1) 情報発信の質と量の強化

- ・UIターン総合情報サイト「くらしまねっと」において属性別（Uターン希望者、Iターン希望者、女性等）に求められている情報を分析（質の強化）するとともに、主催イベント等の情報を合わせて広く告知（量の強化）を行う

### (2) 東京拠点の発信力、相談体制強化

- ・東京で関係人口や地方移住、女性の活躍といったテーマとしたイベントや交流会等を実施し、関心の高い人材の掘り起こしと囲い込みを行う
- ・ふるさと回帰支援センターに移住支援コーディネーターを配置することで、Iターン希望者や島根県出身者に島根での暮らしをアピールするとともに、さらにきめ細やかな相談ができるよう体制を強化する

### (3) UIターンフェアのあり方についての見直し

- ・属性や開催地域別による特徴を分析し、効果的にフェア等を開催するため、これまで各会場共通であった内容を開催地別に検討するとともに、東京会場の2日間開催を含め、日程等も再考しながらフェア等を実施する

## 2. 無料職業紹介事業の状況

### R1年度の状況

2月末の就職決定者数は、前年同期と比べ15人程度下回っており、また、新型コロナウイルスの影響も考慮すると、減少に転じる可能性が高い

#### 【マッチング件数の推移】

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
就職 決定者	H30	20	20	24	27	25	23	25	30	30	33	37	18
	累計	20	40	64	91	116	139	164	194	224	257	294	312
	R1	30	24	21	24	23	23	26	24	28	27	29	
	累計	30	54	75	99	122	145	171	195	223	250	279	
	大田以西	4	8	6	5	7	7	6	5	9	1	8	
	石見事務所	4	8	6	5	6	7	6	5	7	1	7	

## R2年度の事業展開

- ・求職者へのさらなるきめ細やかなマッチングを実施
- ・「くらしまねっと」の企業求人情報の充実と求職者へのスカウト機能の活用促進

### 3. 産業体験事業

#### R1年度の状況

2月末の認定者数は、前年同期(75人)と比べ2人上回っているものの、新型コロナウイルスの影響も考慮すると、年度末では減少に転じる可能性がある

認定年度	H27	H28	H29	H30	R1 2月末	累計 (H8~R1)
認定者	83	90	90	88	77	2,004
体験修了者	83	90	65	57	7	1,895
うち 定着	70	72	58	44	4	959
定着率	67.9	84.3	80.0	77.2	57.1	50.6

#### R2年度の事業展開

- ・各種相談会でのきめ細やかな相談対応を実施
- ・「くらしまねっと」の産業体験受入先情報の質の強化（拡充）
- ・定着率向上のため、きめ細やかな体験者へのフォローや関係機関との連携を強化

## IV. 活力と魅力ある地域づくりの関連の主要事業

### 1. 地域づくり支援

#### ①地域づくり応援助成事業

地域活性化や地域の課題解決に資する活動であって、団体の立ち上がり期やこれから開始する活動に対する助成を実施

#### R1年度の状況

第1回審査会（8月21日）申請 6件→採択 6件

第2回審査会（1月22日）申請 7件→採択 7件

事業主体（地域）	事業名	決定額（千円）
産前産後ケア はぐ（雲南市）	産前産後のママ元気プロジェクト ～既存の家事支援との提携サポート～	914
エキノマエ会（邑南町）	「学び」と「地域交流」の場 エキノマエ	1,500
特定非営利活動法人パーソンズサポート（松江市）	水道メーターによるさりげない見守りサービス	1,046
一般社団法人リージョナルミュージック（松江市）	「やってみようラボ」	350
追谷活性化協議会「ぼくらの学校」（奥出雲町）	心のふるさとづくり	1,500
NPO法人緑と水の連絡会議（大田市）	大田市体験交流志向型外国人観光客受入プロジェクト	1,000
SPICE LAB.（雲南市）	スパイスを活用した地域活性&農業魅力化プロジェクト	1,500
はすみ特産センター協同組合（邑南町）	有害鳥獣捕獲の新たな仕組みづくりと特産品開発	631
特定非営利活動法人江の川鉄道（邑南町）	鉄道公園魅力化を通じた関係人口創出・拡大事業	1,500
豊かに、生きる。（益田市）	若者に「ふるさと」を届けるプロジェクト	1,500
城名樋会（雲南市）	城名樋山を活用した、つながり広がる斐伊の郷づくり事業	1,500
思うは招こう会（津和野町）	T S U W A N O探求事業	390
うんなん市民財団設立準備委員会（雲南市）	市民財団による“誰もが”参画できるまちづくり	1,500

【R1助成決定額総計：14,831千円】

#### R2年度の事業展開

・島根創生計画における「関係人口の拡大」に連動して、新たな人材の参画を促進する取り組みが認められる活動を助成の対象とする。

#### ②県内版しまコトアカデミー

地域活動に関心のある若者等を対象に地域活動への関わり方を学ぶ、座学とフィールドワークを組み合わせた連続講座を実施

### ③地域おこし協力隊の支援

R1年度に、県から業務(募集・研修会・交流会)の移管を受け、地域おこし協力隊の確保や定着率アップ等に向けて、県と連携して支援を実施

### ④多様な資金調達手法支援事業

地域活性化や地域課題の解決に資する活動を行う団体・個人の組織基盤強化・資金力強化のため、多様な資金調達手法の支援を実施

- ・多様な資金調達セミナー
- ・クラウドファンディング伴走支援(アドバイザー派遣)

### ⑤地域づくりフォローアップ(相談・派遣)

年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1 (2月末)
訪問・相談	362	528	647	595	362
A D派遣	12	19	20	30	14

## 2. 関係人口の拡大

### ①しまコトアカデミー東京・関西・広島講座(新規)

都市部在住で島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に、都市部での座学と島根県内でのフィールドワークを通じて、地域のソーシャルな活動を学ぶ連続講座として実施するもので、R2年度から、県から業務移管を受けて財団で実施。

### ②首都圏の大学との連携(新規)

専修大学との連携協定に基づき、講義の一環として行われるリーダーシップ開発プログラムに参加する学生の受け入れやイベント企画のフォローなどを通して、大学と連携した関係人口の創出を図る。

## 3. しまね田舎ツーリズム

### R1年度の状況

- ・実践者向けの県内、県外での各種研修会に加え、リスクマネジメント研修を実施
- ・住宅宿泊事業法(民泊新法)又は旅館業法への移行手続きなどに対するフォローアップを実施
- ・移住検討中の方の受け入れに積極的な民泊施設を特集した冊子を制作し、しまねUターンIターンフェア等で配布

### R2年度の事業展開

- ・体験メニューの魅力化支援として、個々の実践者が収益を上げるためのセミナーの開催や既存体験メニューの魅力化を図るための助成

対象経費：外部講師の招聘、先進地視察、モデルツアーの開催経費など

- ・しまコトアカデミーや都市部の大学との連携等において、田舎体験や交流の機会を提供することにより、しまね田舎ツーリズム実践者の機運醸成や意識啓発を図る

## 4. 社会貢献活動の促進

### R1年度の状況

- ・NPO入門講座やNPO法人として必要な事務手続きについて学ぶ「事務局セミナー」等の実務者研修に加え、法人の透明性の確保や業務遂行能力の向上を図るための「ガバナンスセミナー」を実施
- ・H29～R1の3か年事業として実施した「中山間地域・離島におけるNPO創出のための伴走支援事業」では、2年間の「ソーシャルデザインスクール」で磨いてきたプランの実現に向けた活動の支援を実施
- ・既存団体に対しては、ファンドレイジング連続講座を開催することにより、資金調達力の強化に向けた支援を実施
- ・休眠預金の活用に向け、資金分配団体として中国5県でコンソーシアムを組み島根県内の団体にも対応できるよう体制を整え、申請を希望する団体への支援を行った

### R2年度の事業展開

- ・引き続き実務者研修や報告書作成などテーマを設定した研修の実施及び専門相談、出張相談を実施
- ・県民活動応援webサイト「島根いきいき広場」や機関誌「しまねいきいきねっと」など情報発信を強化するとともに、団体の組織基盤や財政基盤を強化し、NPOの信頼性の向上に向けた取り組みを実施
- ・休眠預金の活用について採択団体があった場合は、事業の着実な推進に向けた支援を行う

## V. 財団の人員・組織体制

### (1) 組織体制

プロパー職員	16 人	※育児休業(1)含む
県派遣職員	4 人	事務局長、ジョブカフェ事業課長、サテライト東京担当課長、地域活動支援課主任 各 1 人
スタッフ	45 人	※サテライト東京相談員採用(1 増)
県教委派遣	1 人	
合計	66 人	

### (2) 教育庁との連携 ※継続

- ・ H 2 3 年度から現職の教員を受入  
学生登録の強化、教員の企業訪問、内定者の研修、就職後の交流会等、企業と学校・学生をつなぐ役割（定数外）

### (3) スタッフの増員(サテライト東京)

- ・ 新規事業対応等のためスタッフ(有期嘱託)を 1 名増員  
しまね移住支援サテライト東京での相談業務に加え、ふるさと回帰支援センターにも島根県の相談ブースを設置し、相談業務を行なうことに伴い、現在 2 名の移住支援コーディネーターを新たに 1 名採用し 3 名体制にする

※サテライト東京での相談業務を行なう「島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー」は、日本橋から日比谷に移転し、4 月 2 2 日にオープンする「日比谷しまね館」内に相談室等を設置